

# 第14回『真冬に保育を考える研修会』のご案内

テーマ：『全てのこども・おとなのウェルビーイングのために』  
～こどもの育ちと保護者をどう支えていくか～

## 1. 主旨

こども家庭庁は「はじめの100ヶ月の育ちビジョン」を発表しました。『こどもまんなか』と合わせて「安心と挑戦」の連続という「保育」をまんなかに据えることが全てのこども、全ての大人のウェルビーイングにもつながるとしています。

国は、すべてのこどもの育ちを支えるため、「こども誰でも通園制度」を創設し、本年度は先行自治体で実施、来年度は「地域・子育て支援事業」の中に位置付け、さらに令和8年度からは給付事業として全ての自治体で本格実施することが義務づけられています。この制度によって「保育」がどうアップデートしていくのか注目されます。

さらに保育所やこども園は、こども家庭支援センターと連携した身近な相談機関として子育て中の保護者を支えるための新たな機能が期待されています。全てのこどもと全ての大人のウェルビーイングを目指す保育とは何かを一緒に考えてみましょう！

2. 主催 真冬に保育を考える会

3. 共催 ここネット 日本保育協会山口支部青年部  
県内若手園長会(一步会)・市内若手園長会(縦年会)

4. 募集人員 50名《定員になり次第締め切らせていただきます》

5. 日時／会場 日時：令和7年2月10日(月)～11日(火・祝)

1日目 13:30～17:40

2日目 10:30～16:00

会場：ふくふくこども館

〒750-0025 下関市竹崎町4-3-3 083-227-2581

6. 参加費 7,000円

7. 申込方法 別紙申込書を記入しFAXにてお申し込み頂くかまたは下記のQRコードまたはURLにアクセスしGoogleフォームにて令和7年1月31日(金)〆切厳守にてお申し込みください。

FAX：083-256-8158

URL <https://forms.gle/M6rh4jDtyCgoCJes5>



## 《プログラム 初日 2 / 10 (月)》

13:00

受付

13:20

開会の挨拶

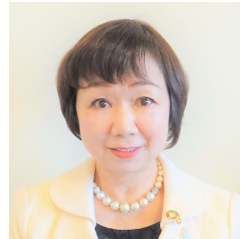
### 研修 1 13:30～15:30

#### 『こども誰でも通園制度をやってみて感じたこと』

～ 反対のために手をあげたはずだったのに… ～

全国保育士会 副会長

あけぼの保育園 園長 北野久美 先生



こども誰でも通園制度は、今年度から先行自治体を実施していて、来年度は13事業の1つとなり、さらに令和8年度からは給付事業として全自治体で実施ことが決まっています。この『だれでも通園制度』がこれからの保育を変えるとまで言われています。

そこで、北九州市で実践しておられる北野先生から実践してみて感じたことのお話しをしていただきます。

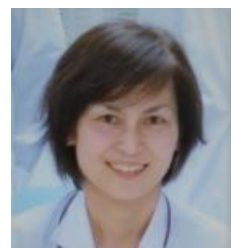
～ 10分休憩～

### 研修 2 15:40～17:40

#### 『3歳児神話に科学的根拠はない』

～ 早期の保育施設利用に対するポジティブな効果 ～

東北大学 大学院医学系研究科発達環境医学分野  
教授 大田千晴 先生 (医学博士)



このたび、エコチル調査に参加した約4万人のデータを解析し、こどもの発達について調べた結果、厚生労働省がいうように「3歳児神話」には合理的な根拠がないということが改めて証明されたことをプレスリリースしました。1歳未満から保育施設を利用していたこどもと3歳まで保育施設を利用しなかったこどもと比較して3歳時点での発達についてデータに基づきお話しをします。子育てに行き詰まっている母親が保育所を少しでも利用しやすくなるといいなと思います。

17:40 明日の研修の案内と情報交換会の案内

(宿泊者・情報交換会参加者はホテルチェックイン後移動となります)

大黒荘 下関市新地町4-22 TEL: 083-222-2684

～1日目終了～

## 《プログラム 2日目2/11 (火・祝)》

受付10:15～

研修3 10:30～12:30

### 『こどもへの虐待を未然に防ぐ親へのアプローチ』

～今、保育者にできること～

武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科

教授 倉石哲也 先生



※こども誰でも通園制度（仮称）の本格実施を見据えた試行的事業実施の在り方に関する検討会の座長代理

気になるこども以上に気になる保護者が増えています。児童虐待の要因が保護者自身のケースも多く、親の抱える困難さ、親の精神疾患などから上手く子どもとの愛着関係ができない親子をどう守り支えていけば良いのでしょうか？そのような保護者との関係作りを皆様と一緒に考えていきましょう！

(昼食休憩 60分)

研修4 13:30～15:30

### 『安心して保育するためのリスクマネジメント』

～考える保育を目指して～

至誠館大学 教授 田中 浩二 先生



保育中の死亡事故や重大な事故・ケガはもちろん防ぐ必要がありますが、防ぎたい事故やケガは重大なものだけに限りません。不用意に起きるケガを防ぐためには、決められたことを確実に行うだけでなく、考えながら臨機応変に対応していくことも大切です。事故予防や保育の中での「考える」を一緒に考えてみましょう！

**15：40 閉 会 （片付け）**

**16：00 解 散**

※オプション参加希望者は、申込書または申込みフォームの「ふくの会」欄に○を記入してお申し込み下さい。

オプション：【情報交換会 希望者のみ】《前日2／10（月）》

18：30 「ふくの会」（情報交換会）  
大黒荘  
下関市新地町4-22  
TEL：083-222-2684

